家族仲間で楽しむフィンランド生まれのスポーツ

公式用

モルックの遊び方

「みんなでモルック！」子どもから爺ちゃん婆ちゃんまで

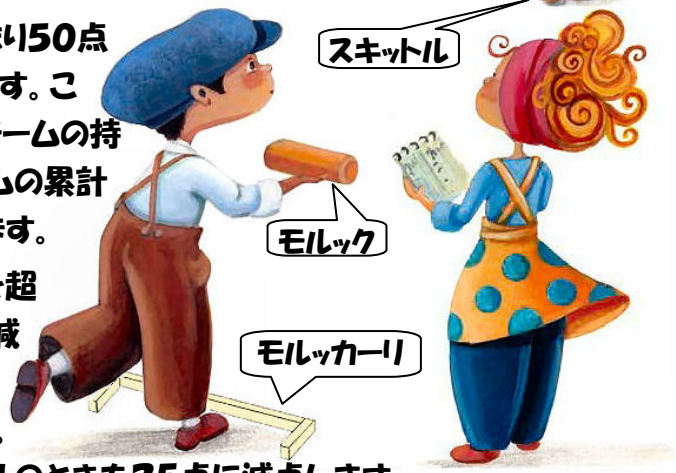
1. モルックは、世代を越えて誰もが楽しめるフィンランド発祥のレクレーションスポーツで、「モルック」という棒を「モルッカーリ」の場所から投げて「スキットル」を倒し、1投ごとの得点の合計で競うゲームです。スキットルは1～12までの番号が付いています。

2. 最初に、投げる場所のモルッカーリから3～4m（公式では3．5m）先にスキットルを右図のように配置します。

➢ 配置は3m以下に変えることもできます。（ローカルルール）

3. 得点の合計がぴったり50点でゲームを終了します。このときの得点が各チームの持ち点となり、各ゲームの累計得点で順位を決めます。

4. 合計得点が50点を超えたときは25点に減点となり、ゲームは25点から続けます。37点以上でファールのときも25点に減点します。



➢ ゲーム終了の得点を40点、40点超えを25点に変更、投擲回数を制限して、ゲームの時間を短縮することもできます。（ローカルルール）

5. 最初のゲームのプレー順は、チーム代表のジャンケン等で決めます。

6. モルックは、横または縦（1本狙いのとき）に握って下手投げでします。

7. モルックを投げ、倒れたスキットルの側面の全てが、地面（床面）に接触しているものだけが得点対象となります。

8. プレーヤーが倒したスキットルの内、2本以上が得点対象となる時は、倒したその本数が得点となり、得点対象が1本のときは、その番号が得点となります。（12#は得点対象外）

9. 倒れたスキットルは、倒れたなりにその場に起こして、番号をモルッカーリ（プレーヤー）側に向けます。

10. 倒れたスキットルが壁に当たったり、コートの外に出たときは、スキットルの長さの分だけその内側に移して立て直します。

11. 3回連続で無得点のときは、ゲーム失格で0点です。また、モルックを投げる時にモルッカーリに触れたり、その上を越えるとファールで得点は0点です。

➢ ゲームの形態や性質によっては、ゲームの失格やファールの適用を、「得点の減点や口頭注意」に変えることもできます。（ローカルルール）

12．2ゲーム以降は、再びスキットル12本を初めの位置に並べ直してから、累計得点の低いチームから順にゲームを始めます。

13. 記録員（得点）は、コート全体のゲームを指揮します。（ローカルルール）

14. プレーヤーは、次ぎの事を順に行いゲームをします。（ローカルルール）

①.モルッカーリの位置から、下手投げで<u>モルックを投げる</u>。

②.スキットルの位置に移動して、得点を確認後に<u>スキットルを起こす</u>。

③.次のプレーヤーの<u>審判員をする</u>。（得点の本数とその得点を言う）

④.投げられたモルックを拾い、次のプレーヤーに<u>モルックを手渡す</u>。